

部局名	子ども部	所属名	元気子ども課	所属長名	武藤 州範	電話	483-1151 内線2260
-----	------	-----	--------	------	-------	----	-----------------

## 1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	4094	事務事業名称	乳幼児医療費助成事業				短縮コード	経常	4094	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	08	乳幼児医療費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		八千代市乳幼児医療費の助成に関する条例							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
乳幼児の保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図り、もって乳幼児の保健の向上及び子育て支援の充実に寄与することを目的とし、県の補助事業として昭和48年度から開始。平成19年度は健康保険が適用された医療費の一部負担金のうち、0歳～小学校就学前児の入院・通院にかかるものを助成した(入院1日・通院1回につき200円の保護者負担あり。但し、市民税所得割非課税世帯は負担なし)。なお、平成20年度は助成対象を拡大し、平成20年4月診療分からは新たに小学校就学～中学校修了前児の入院にかかるものを助成する。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱(章)	01	健康福祉都市をめざして					
当初は、小学校就学前児の15日以上継続した入院と0歳児の通院が助成対象とされ、所得制限が設けられていた。また、県の補助率は10/10であった。少子化の進行に伴い、次世代育成支援の観点から助成内容の拡充が図られる一方、県の補助率は引き下げられた(平成15年度から、0歳～2歳児の入院・通院と3歳～小学校就学前児の7日以上継続した入院が県の補助対象となり、所得制限が廃止され、助成方法が現物給付化された。また、平成18年8月診療分からは0歳～小学校就学前児の入院が日数に関わりなく、平成19年10月診療分からは新たに3歳児の通院が、それぞれ補助対象となった。一方、平成5年度から、県の補助率は1/2となっている)。平成20年4月診療分からは市の単独事業として助成対象を拡大するが、現在、平成20年度以降の県の補助対象が(所得制限の再導入も含め)検討中であるため、今後の県の補助事業としての見通しは不明瞭である。県の動向によっては、市の制度そのものの見直しや、事務内容の大幅な変更が必要となる。					大項目(節)	01	保健・医療					
					中項目	02	医療					
					小項目(施策)	01	地域医療体制の整備・充実					
					細項目	02	医療費の給付等					
					実施計画の計画事業							
				計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	平成19年4月 ~ 平成20年3月		計画事業費	千円	

## 2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	八千代市に住所を有する小学校就学前の乳幼児の保護者。						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成19年度に実際に行ったこと: I 受給資格の管理: ①申請・変更届・喪失届の受付・審査・電算入力・確認・通知 ②医療費助成受給券の交付・回収 II 医療費の助成: ①現物給付一國保連合会からの請求の確認・支払 ②償還払い申請の受付・審査・電算入力・確認・通知・支払 ③医療機関・保険者との確認・調整 III 制度の案内・広報: ①窓口・電話での対応 ②案内書類等の配布・送付 ③広報・HPへの掲載 IV 県補助金の申請: 所要額調べ・交付申請・実績報告の電算入力・集計・作成 ※平成20年度に計画していること: I～IVは平成19年度に同じ。但し、IとII①は小学校就学前の乳幼児についてのみ(小学校就学から中学校修了前の児童については行わない)。また、I①の一部で電子申請システムに対応する。 V 制度改正(平成20年4月分): ①広報・HPへの掲載 ②医療機関へのポスター配布 ③送付物への案内文の同封・記載 VI 上位制度等改正への対応: ①健康保険法等改正に伴うシステム変更 ②県補助内容変更に伴う(条例・)規則改正 (③条例・規則改正に伴う案内・広報)						
意図 (何を狙っているのか)	乳幼児の保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	指標	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	
対象指標	指標1	八千代市に住所を有する小学校就学前の乳幼児数	人	13,729	14,098	13,740	13,751
	指標2	同 小学校就学から中学校修了前の児童数	人				17,423
	指標3						
活動指標	指標1	受給資格認定者数	人	3,005	3,038	2,961	2,963
	指標2	助成件数(現物給付ーレセプト換算)	件	173,870	226,354	220,280	228,421
	指標3	助成件数(償還払いー領収書換算)	件	4,848	6,477	5,047	5,529
成果指標	指標1	受給資格者数	人	11,990	12,288	12,161	12,334
	指標2	扶助費の額	円	311,742,726	415,500,000	419,859,581	376,488,124
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	4094	事務事業名称	乳幼児医療費助成事業			所属名	元気子ども課
	単位	18年度		19年度		20年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円	83,420	99,088	105,088	118,210
		地方債	千円				
		一般財源	千円	242,971	335,163	328,420	277,877
	その他	千円	3,965	1	4,336	1	
	主な事業費の内訳		扶助費311,743 手数料13,586	扶助費415,501 手数料17,203	扶助費419,860 手数料16,781	扶助費376,489 手数料17,360	
人件費(B)		千円	25,725	25,437.3	24,902.4	36,414.2	
トータルコスト(A)+(B)		千円	356,081	459,689.3	462,746.4	432,502.2	

### 3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	乳幼児の医療費を助成することで保護者の経済的負担が軽減され、乳幼児の保健が向上する。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	少子化の進行に伴い、次世代育成支援の観点からも、尚一層の乳幼児の保健の向上及び子育て支援の充実が求められている。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	県の補助事業であり、医療費の扶助という性質からも民営化にはそぐわない。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input type="checkbox"/> 現状のままでよい	次世代育成支援の観点から、平成20年度は対象を拡大する(新たに、八千代市に住所を有する小学校就学から中学校修了前の児童の保護者を対象とする)。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	平成20年4月診療分から、新たに小学校就学～中学校修了前の入院に関しても助成対象となったことで事務作業の増加が見込まれるが、その中での単純作業部分を臨時職員に担わせることで人件費の削減を図る。また、そうした臨時職員と正規職員との連携を強化することで事務作業だけでなく、拡大後の事業全体のサービスの向上も見込まれる。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し						
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し						
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)		
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法		2		実施主体(所管部署)		
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input checked="" type="checkbox"/> ある	事務作業システムを構成する人員・機器類の適切な配置及び環境の整備。システム全体を把握・管理できる職員の確保。				
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	4094	事務事業名称	乳幼児医療費助成事業			所属名	元気子ども課																						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			平成20年度は助成対象を拡大し、健康保険が適用された医療費の一部負担金のうち、平成20年4月診療分からは新たに小学校就学～中学校修了前児の入院にかかるものを助成する。現在は平成20年度以降の県の補助対象が検討中であるため、県の補助事業としての見通しは不明瞭であるが、今後も改革・改善を検討しつつ保護者の経済的負担の軽減を図り、いたずらに事業規模を拡大するのではなく、効率的に成果をあげていく必要がある。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																										
		⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	助成対象の拡大に伴う支出の増加が見込まれる（但し、平成19年度と平成20年度の比較では、健康保険法等の改正により、扶助費自体は減少する）。同時に、対象が増えることにより全体的な成果の向上も見込まれる。	
		経 費																											
		削 減	不 変	増 加																									
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																									
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
I 助成内容の拡充：①対象年齢の引上げ（中でも小児慢性特定疾患対象者や小児喘息患者に対して） ②保護者負担の廃止 II 助成方法の改善：①社保加入者及び償還払い時の高額療養費の受領委任 ②柔道整復の現物給付 ③県外受診の現物給付 III 申請手続きのIT化：（前段階として）申請書類のインターネットによる配布 IV 国の制度の創設	

所属長コメント	平成20年4月から、これまで小学校就学前までを対象としてきたものを入院医療費に限り小学校及び中学校卒業（義務教育修了）まで拡大した。今後も保護者の経済的負担の軽減と児童の保健の向上に努めたい。	
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、今後も改革・改善を検討し、効率的・効果的に事業を推進すべき。また臨時的任用職員で可能な事務内容の整理を行い、できることは推進すべき。